ふれあうナカマ 育む 見守る ちょっと近くない？

えっ？ 育む 見守る ふれあうナカマ

小学校高学年向け

たよりない父と逃避行

理論社

キッドナップ・ツアー

角田光代 著

ハルは小学５年生。夏休みの１日目、アイスを買いに家を出ると誘拐（キッドナップ）されてしまいます！

犯人は２カ月前から家に帰ってこなくなったハルのお父さん。目的は、ハルを人質にしてお母さんと取引すること。海水浴や肝だめし、キャンプ…と、夏を満喫する!?逃避行だけど、情けないお父さんにハルはストレスたまりっぱなし。

一方でお母さんとの取引はなかなか進展しないので終わりが見えず…。ちょっとクールな女の子ハルと、計画性がない、だらしない、お金がない、となないだらけのお父さん。２人の「誘拐の旅」の行方は？

ハルの心の動きや言動、お父さんへの気持ちの変化がいとおしく、とても共感しました。最後のお父さんの言葉はかっこいいです！ （吉田祐子さん）

この夏おすすめの一冊

国内編

本との出合いは、自分の世界を広げることにつながります。この夏、おすすめの一冊を、宮城県図書館子ども図書室の司書さんに聞きました。２回に分けて紹介します。１回目は国内編です。

小学校低学年向け

立ち向かう勇気を育む

おしいれのぼうけん

古田足日、田畑精一 作

童心社

ことし６月７日、絵本作家の田畑精一さんが亡くなりました。田畑さんといえば、古田足日さんと作った、この『おしいれのぼうけん』がもっともよく読まれているお話ではないでしょうか。

ある日、保育園のお昼寝の時間に騒いでいた、あきらとさとしは、怒ったみずの先生に押し入れに閉じ込められます。初め、２人は反省しませんでした。しかし、だんだんと押し入れの暗闇の中で、追い詰められだします。あの、怖～いねずみばあさんがやってきたのです！

２人はたくさんの難しい出来事に、力を合わせて立ち向かいます。読んでいるこちらもハラハラドキドキ。この夏、本の中で、あきらとさとしといっしょに手に汗握る冒険に出かけてみませんか？ （佐藤加奈子さん）

母の生き方に心が変化

中学生向け

窓

小手鞠るい 著

小学館

学校から帰宅した窓香のもとに、幼いころ家族で暮らしていた思い出の地、アメリカから１冊のノートが届きます。そこにはジャーナリストになりたいという夢をかなえるため、独りアメリカに残った母からのメッセージがありました。

内戦や紛争が続く国々を訪れた母が出会った、過酷な生活を強いられている子どもたちの姿、一人の人間としてあるいは母としてどんな思いで暮らしていたのか、そして窓香をどれだけ愛していたかが記されていました。読み進めていくうちに引っ込み思案だった窓香の心にも変化が訪れます。

世の中には見ようとしなければ見ることのできないことがたくさんあります。本を開いて、そして窓を開けてみませんか。いつもと違う世界が見えてくるはずです。 （今野陽子さん）

小学校中学年向け

力合わせ願いかなえる

七夕の月

佐々木ひとみ 作

ポプラ社

新型コロナウイルスの影響でことしの仙台七夕まつりが中止となり、残念に思っている人も多いと思います。そこで、仙台七夕の魅力が詰まったこの本をおすすめします。

長年、仙台七夕まつりを守ってきたおばあちゃんが体をこわしたため、和也たち家族は東京から引っ越してきました。仙台七夕を知らない和也は、クラスメートの杉野と自由研究で調べることに。初めは気の合わない２人ですが、まぼろしの七夕飾りを見つけてほしいというおばあちゃんの願いをかなえるため、力を合わせます。

この本を読むと、どんな時代にも仙台七夕まつりが人々の心をつなぎ、楽しませ、勇気づけてきたことがよくわかります。来年はみんなが笑顔で七夕飾りを見られるといいですね。 （折原朋子さん）